

ISHIBASHI CULTURAL CENTER Museum Concert ★ for kids ★

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、コンサート開催を中止させていただく場合がございます。中止の場合は、ホームページ上にてお知らせします。なお、コンサート実施に際しては以下の点について皆さまのご協力の程お願い申し上げます。

- 風邪などの症状、発熱等がある場合はご来場をお控えください。
- 会場内に設置する手指用の消毒液をご利用ください。
- 会場内ではマスク着用など感染症対策へのご協力をお願いします。

石橋文化センター ミュージアムコンサート for kids

実力あるアーティスト4人が石橋文化ホールに集結!!
こどもだけでなく、大人も楽しめるライブコンサートを開催します!!
この1日、石橋文化センターで楽しい思い出を作ってみませんか。

安武 玄晃 Motoaki Yasutake (サクソ)



福岡県小郡市出身。病をきっかけに16歳より本格的にアルトサクソスを始める。2009年ダイアナロスやスティービーワンダーと共演した世界最高峰SAX奏者Ron Brown氏に師事。2010年デビューアルバム「Break Through」をリリース。ロサンゼルスにて全収録のこのアルバムは、Yahooショッピング「アーリーJazz部門」2016年10月売上ランキングで1位を獲得。また、日本の第一線で活躍するミュージシャンの協力により、東京と博多で「安武玄晃コンサート」を開催した他、「立川生志」「立川志の輔」高座にゲスト出演。元H2Oの中沢けんじ氏、サーカス、久保田早紀(現久米小百合)、石井明美氏と共演するなど幅広く活動している。東北にて復興支援コンサートも開催。生まれ故郷である小郡市の主催により「安武玄晃 Gospel Jazz コンサート」を2014年から6年間毎年開催し、満員御礼で大盛況を博す。2020年には、デビュー10周年を記念し、小郡市の協力とはからいにより無観客DVD収録コンサートを開催し、ライブDVDを全国にリリース。また、新型コロナウイルス感染拡大を受け、「安武ひとりオンラインコンサート」を生配信し、そのDVDを発売するなど新たな試みを行う。全国ネットから地方番組までTV・ラジオに多数ゲスト出演。2022年5月、サクソの世界3大メーカー「Yanagisawa」(柳澤管楽器株式会社)とエンドース契約し、ヤナギサワ・アーティストとなる。

由夏-Yuka Yuka (ヴォーカル)



基山町出身。音大卒業後、ヤマハ音楽教室音楽講師として活動を開始。講師&アレンジャーとしてのヤマハ最上級のグレードを取得。また、アレンジャー、エレクトーン・ピアノプレイヤーとしても活動。その後シンガーソングライターとして活動を開始。2010年、絢香などのメジャーアーティストのアレンジャーでもある岩下ケイスケ氏プロデュースで、由夏ソロアルバム「GIFT」をリリース。有線放送にて全国で配信中。また「GIFT」の中から「光へ」が、Music Tree「USEN賞」を受賞。また、元フォーククルセダーズきたやまおさむ氏との共演や、アース製菓等のCMソングも歌っている。太宰府市主催事業のボイストレーニング講座担当講師。

西田 勇 Isamu Nishida (ギター)



幼少の頃から音楽環境に恵まれた教会で育ちゴスペルギタリストとして歩み始める。Larry Carlton、Paul Jackson Jr. など、そのカリフォルニアサウンドに影響を受け自身のスタイルを確立する。2002年に渡米した際オクラホマ州WCCハイスクールにてギター科講師の臨時講師を務める。また、様々なアーティストCDのプロデュースやアレンジも手掛け、作曲家、ピアニストとしても幅広い才能を発揮している。スピリット溢れるプレイは彼の世界へと引き込み多くの人々に感動を与えている。

栗原 蘭里 Mayuri Kurihara (ピアノ)



福岡市出身。3才よりピアノ、エレクトーンを弾き始める。生まれつき弱視であったため音への反応が敏感で、幼少期より喜怒哀楽を楽器で表現することに夢中になる。西南学院大学卒業後、2001年より9年間米国ボストン、そしてニューオリンズへ音楽留学。ランディー・ブレッカー氏がゲスト審査員を勤めた2003年ヨロラ大学ジャズ・フェスティバルではアウトスタンディング・ミュージシャンシップ賞を受賞。全額奨学金を受けテューレン大学院ピアノ演奏科及びピアノ教授法科修了。テューレン大学院コンチェルト・コンペティション優勝。修士号取得後も同大学院にて恩師ルシュタク氏のもとで教授助手として指導経験を積む。その間ニューオリンズ・ジャズフェスティバル出演やオペラ、ミュージカル、R&Bバンド、ゴスペル・クワイアの伴奏等、ジャンルにとらわれない多彩な演奏活動も行う。2005年よりセント・キャサリン・ドレクセル教会ゴスペルクワイアの専属伴奏も務める。2010年に帰国し、地元福岡で精力的に演奏活動を行う傍ら、自らが主宰する「音の絵教室」にて後進の指導にもあたっている。

<https://sma.star7.jp/otonoe/>



正二郎の歩みや人となりを紹介している石橋正二郎記念館。その絵画展示コーナーでは石橋財団コレクションのなかから現在、松田諦晶と古賀春江の作品を4点展示しています。

久留米市美術館休館中はこの記念館で講座などさまざまなイベントを行います。それらをまとめて、文化センターのペリカン噴水にちなんで「ペリカンくらぶ」と名付けました。

※久留米市美術館は搬出入口等整備工事のため2022年10月28日まで休館します。



古賀春江《海水浴の女》1923年
石橋財団アーティゾン美術館蔵